2024年度宮城県考古学会研究発表会
特集「南東北の縄文時代の漆文化を考える」

栗原市山王囲遺跡籃胎漆器（栗原市教育委員会提供）

【研究発表会】

〇研究発表

11:00～11:30　「登米市の縄文遺跡を考える上での北上川と佐沼低地の地史」　船木　實、相原淳一

〇特集「南東北の縄文時代の漆文化を考える」

11:30～11:40　特集趣旨説明　田村正樹（七ヶ浜町教育委員会）

11:40～12:00　報告①「山王囲遺跡の発掘調査成果について
－低湿地調査と出土漆製品を中心として－」　大場亜弥（栗原市教育委員会）

13:00～13:40　講演　「縄文時代前期の漆工芸」　蒲生侑佳（明治大学文学部）

13:40～14:15　報告②「X線CTによる漆製品の構造解析の成果と課題
－山王囲遺跡出土の漆製品を中心として－」　片岡太郎（弘前大学人文社会科学部）

14:15～14:25　休憩

14:25～15:00　報告③「押出遺跡の漆工芸について」　水戸部秀樹（公益財団法人山形県埋蔵文化財センター）

15:00～15:35　報告④「前田遺跡出土の漆製品と福島県内出土の漆関連資料」
三浦武司（公益財団法人福島県文化振興財団遺跡調査部）

15:35～15:45　休憩

15:50～16:40　座談会　コーディネーター　田村正樹、上記発表者、佐藤建夫（漆職人）

18:00～　懇親・交流会　会場：川内キャンパス内で開催予定
参加費：5000円、学生4000円

《日時》

2024年5月18日（土）11:00～16:45
（受付開始　10:30）

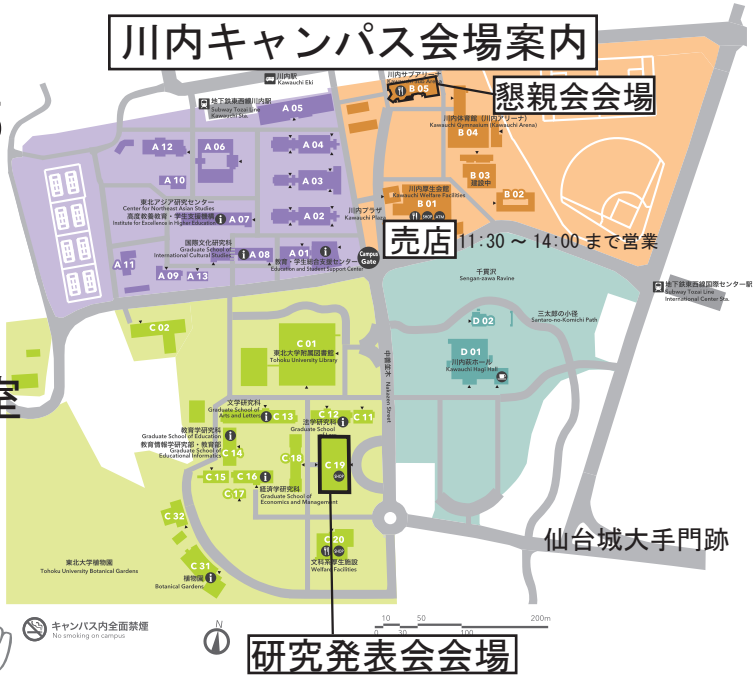
参加申し込み不要・参加費無料

《会場》

東北大学川内南キャンパス
文科系総合講義棟経済学部第2講義室

（〒980-8576　仙台市青葉区川内27-1）

※一般車利用不可のため、公共交通機関をご利用ください。
地下鉄東西線川内駅、国際センター駅より徒歩約10分。

《主催》宮城県考古学会
《共催》東北大学大学院文学研究科
宮城県教育委員会
仙台市教育委員会

www.m-kouko.net